

社会資本総合整備計画（地域住宅支援） 事後評価書

平成 29 年 5 月 11 日

計画の名称	1 姫路市における魅力的で安全安心な住宅市街地及び町並みの形成		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	姫路市
計画の目標			

狭あい道路を調査・整理あるいは拡幅整備することにより、安全で安心できる住宅市街地の形成を図る。  
また、地域の生活文化の様式を今に伝え伝統ある都市の個性を表すとともに、高齢者や障害者など全ての人が安全かつ安心して暮らせる町並みの形成を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路市における狭あい道路を調査し整理した路線の割合</li> <li>・野里街道でのまちづくりイベントへの来訪者数 1,800人（H21）を2,200人（H26）に増加</li> <li>・野里街道地区における修景補助件数 5カ年で15件</li> </ul>		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)							
姫路市における狭あい道路の調査整理した路線の割合を算出する。 (狭あい道路の調査路線の整理率) = (調査整理された路線数) / (姫路市内の狭あい道路の全路線数 約9,600) (%)	31%	50%	70%							
まちづくりイベント開催時に来訪者数を調査 (イベント時の来訪者数増加率) = (評価年度5月の来訪者数 - H21年5月の来訪者数) / (H21年5月の来訪者数) (%)	1800人	1,980人 10%増	2,200人 22%増							
野里街道地区修景施設整備事業補助金交付要綱に基づき、歴史的町並み景観の形成に寄与すると認められる修景等を行ったとして、経費の一部を補助した件数。	0件	9件	15件							
全体事業費	合計 (A+B+C)	275 百万円	A	251 百万円	B	0 百万円	C	24 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	8.7%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
姫路市において目標の達成状況と指標の達成状況を確認。	平成29年3月
	公表の方法
	姫路市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 道路事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-A-1	住宅	一般	姫路市	直接	市	狭あい道路整備等促進事業	指定道路図作成(安富町・夢前町)	姫路市						13		
1-A-2	住宅	一般	姫路市	直/間	市/個人	街なみ環境整備事業(野里街道地区)	修景補助、舗装美化、街路灯設置等	姫路市						233		
1-A-3	住宅	一般	姫路市	直接	市	バリアフリー環境整備促進事業	基本構想策定(姫路駅・白浜の宮駅・英賀保駅・網干駅)	姫路市						5		
合計												251				
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果															

C 効果促進事業														全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)						
										H22	H23	H24	H25			H26
1-C-3	住宅	一般	姫路市	直接	市	-	古民家・町家等利活用推進事業	PR, バンク, 相談会, 調査等	姫路市						20	
1-C-4	住宅	一般	姫路市	直接	市	-	歴史的町並み整備事業 (野里街道地区)	道路美装化工事等	姫路市						4	
合計														24		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															
1-C-3	1-A-2と一体的に実施することにより、市内全域において良好な町家や古民家を改修し利活用することにより、魅力的な町並みの形成を実現する。															
1-C-4	1-A-2周辺地区においても一体的に歴史的町並み景観整備を行うことにより、魅力的な町並みの形成を実現する。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット公開を前提とした道路判定図等作成のための狭あい道路の調査整理の進捗率が向上した。</li> <li>野里街道に点在する町家型住宅や姫路市都市景観重要建築物などの歴史的な町並みを構成する景観資源を、外観修景補助や道路の美装化を行うことにより、有機的に結びつけることができ、来訪者にとって魅力ある空間を創造することができた。</li> <li>歴史的な町並みを保存・形成するため、PR等を行い、住民意識の向上を促進したことにより、修景補助による外観修景が図られた。</li> </ul>
--------------------------------	---

II 定量的指標の達成状況	指標① (姫路市における狭あい道路の調査整理した路線の増加割合)	最終目標値	70%	目標値と実績値に差が出た要因	測量の委託作業等はH22年度で完了。以降は実情調査等を行いながら随時整理を進めているため。		
		最終実績値	68.9%				
	指標② (野里街道でのまちづくりイベント開催時の来訪者数)	最終目標値	2,200人 (22%増)	目標値と実績値に差が出た要因		屋外イベントで、平成26年度開催当日が雨天となったため。(平成25年度の来場者数は4,000人、計画期間の平均値が2,500人となっており、町並み形成が来訪者数増加に効果を与えていると認められる)	
		最終実績値	1,000人 (44%減)				
	指標③ (野里街道地区における修景補助件数)	最終目標値	15件	目標値と実績値に差が出た要因			修景助成件数は年間予定件数3件を予定していたが、申請件数が予定を下回る年度があったため。
		最終実績値	13件				

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	景観法による必ず守らなければならない『景観形成基準』による規制・誘導と、推奨する基準である『修景助成基準』による修景助成を実施したことにより、歴史的な町並みを保存・形成していこうとする住民意識が高まり、地域が一体となって景観を守る取り組みが進められている。
--	--

3. 特記事項 (今後の方針等)

引き続き、社会資本総合整備計画 (第2期) にて、道路美装化、修景助成を実施継続し、来訪者にとって魅力ある空間の創出を行っていく。

(参考様式3) (参考図面) 地域住宅支援

